

別表2-1

( 上半期 ・ 下半期 )

点検箇所

棟 階 室

(点検者職位・氏名: )

自主検査点検表(定期)

実施項目		確認箇所 (良・・・○、不備・欠陥・・・×、要改修・・・△)	検査結果		
建物構造	(1) 基礎部	上部構造体に影響を及ぼす沈下・傾き・ひび割れ・欠損等			
	(2) 柱・梁・壁・床	コンクリートの欠損・ひび割れ・脱落・風化等			
	(3) 天井	仕上材の剥落・落下の怖れがあるたるみ・ひび割れ等			
	(4) 窓枠・サッシ・ガラス	ガラスの落下又は枠自体の外れの怖れがある腐食・緩み・変形等			
	(5) 外壁・ひさし・パラペット	外壁面仕上材(タイル)の剥落・落下の怖れがあるひび割れ・浮き上がり等			
	(6) 手すり	支柱が破損・腐食していないか。取付部に緩み・浮きがないか。			
	(7) 消防隊非常用進入口	表示されているか又、進入障害はないか。			
防火設備	(1) 外壁の構造及び開口部等	① 外壁の耐火構造等に損傷はないか。 ② 外壁近く及び防火戸の内外に防火上支障となる可燃物の堆積・避難の障害となる物品等は置いていないか。 ③ 防火戸は円滑に開閉できるか。			
	(2) 防火区画	① 防火区画を構成する壁、天井に破損はないか。 ② 階段内に配管、ダクト、電気配線等が貫通していないか。			
避難施設	(1) 廊下・通路	① 有効幅員が確保されているか。 ② 避難上支障となる設備・機器等の障害物を設置していないか。			
	(2) 階段	① 手すりの取付部の緩みと手すり部分の破損がないか。 ② 階段室の内装は不燃材料になっているか。 ③ 階段室に設備・機械等の障害物を設置していないか。 ④ 非常用バッテリーで点灯するか。			
	(3) 避難階の避難口(出入口)	① 扉の開放方向は避難上支障ないか。 ② 避難扉の錠は内部から容易に開けられるか。 ③ 避難階段等に通ずる出入口の幅は適切か。 ④ 避難階段等に通ずる出入口、屋外への出入口の付近に障害物はないか。			
火気設備器具	(1) 厨房設備(大型レンジ、フライヤー等)ガスコンロ、湯沸器	① 可燃物品からの保有距離は適正か。 ② 異常燃焼時に安全装置は適正に機能するか。 ③ ガス配管は亀裂、老朽化、損傷していないか。 ④ 油脂分を発生する器具の天蓋及びグリスフィルターは清掃されているか。 ⑤ 排気ダクトの排気能力は適正か。ダクトは清掃されているか。 ⑥ 燃焼器具の周辺部に炭化しているところはないか。			
電気設備	(1) 変電設備	① 電気主任技術者等の資格を有する者が検査を行っているか。 ② 変電設備の周囲に可燃物を置いていないか。 ③ 変電設備に異音、過熱はないか。			
	(2) 電気器具	① タコ足の接続を行っていないか。 ② 許容電流の範囲内で電気器具を適正に使用しているか。			
検査実施者氏名		検査実施日	検査実施者氏名	検査実施日	防火管理者確認
構造関係		令和 年 月 日	火気設備器具	令和 年 月 日	
防火関係		令和 年 月 日	電気設備	令和 年 月 日	
避難関係		令和 年 月 日	危険物施設	令和 年 月 日	

注：不備・欠陥がある場合は、直ちに防火管理責任者に報告すること。

自主検査点検表(日常)「火気関係」及び「閉鎖障害等」

実施責任者		火元責任者							
期 日	点検項目 (良…○、不備・欠陥…×、要改修…△)								
	火気関係			避難障害			閉鎖障害	AED	防火 管理者 確認印
	電気器具の 後始末及び 配線老朽化 と損傷状況	火気設備器 具設置及び 使用状況	倉庫等の施 錠状況	避難口	廊下避難通 路	階段	防火戸	AED AED	
1日 ( )									
2日 ( )									
3日 ( )									
4日 ( )									
5日 ( )									
6日 ( )									
7日 ( )									
8日 ( )									
9日 ( )									
10日 ( )									
11日 ( )									
12日 ( )									
13日 ( )									
14日 ( )									
15日 ( )									
16日 ( )									
17日 ( )									
18日 ( )									
19日 ( )									
20日 ( )									
21日 ( )									
22日 ( )									
23日 ( )									
24日 ( )									
25日 ( )									
26日 ( )									
27日 ( )									
28日 ( )									
29日 ( )									
30日 ( )									
31日 ( )									

注：不備・欠陥がある場合は、直ちに防火管理責任者に報告すること。

別表3

消防用設備等自主点検表

実施設備	確認箇所（良・・・○、不備・欠陥・・・×、要改修・・・△）	点検結果
消火器 (令和 年 月 日実施)	(1) 設置場所に置いてあるか。 (2) 消化薬剤の漏れ、変形、損傷、腐食等がないか。 (3) 安全栓が外れてないか。安全栓の封が脱落していないか。 (4) ホースに変形、損傷、老朽化等がなく内部に詰まりがないか。 (5) 圧力計が指示範囲内にあるか。	
屋内消火栓設備 (令和 年 月 日実施)	(1) 使用上の障害となる物品はないか。 (2) 消火栓扉は確実に開閉できるか。 (3) ホース、ノズルが接続され、変形、損傷はないか。 (4) 表示灯は点灯しているか。	
泡消火設備 (令和 年 月 日実施)	(1) 泡の分布を妨げるものがないか。 (2) 間仕切り、棚等の新設による未警戒部分はないか。 (3) 泡のヘッドにつまり、変形はないか。	
自動火災報知設備 (令和 年 月 日実施)	(1) 表示灯は点灯しているか。 (2) 受信機のスイッチは、ベル停止となっていないか。 (3) 用途変更、間仕切り変更による未警戒部分がないか。 (4) 感知器の破損、変形、脱落はないか。	
ガス漏れ火災警報設備 (令和 年 月 日実施)	(1) 表示灯は点灯しているか。 (2) 受信機のスイッチはベル停止となっていないか。 (3) 用途変更、間仕切り変更、ガス燃焼機器の設置場所の変更等による未警戒部分がないか。 (4) ガス漏れ検知機に変形、損傷、腐食等がないか。	
非常ベル (令和 年 月 日実施)	(1) 表示灯は点灯しているか。 (2) 操作上障害となる物がないか。 (3) 押しボタンの保護板に破損、変形、損傷、脱落等がないか。	
放送設備 (令和 年 月 日実施)	(1) 電源監視用の電源電圧計の指示が適正か、表示灯が正常に点灯しているか。 (2) 試験的に放送設備により放送ができるか。	
誘導灯 (令和 年 月 日実施)	(1) 改装等により設置位置が不適正になっていないか。 (2) 誘導灯の周囲に間仕切り、衝立、ロッカー等があつて視認障害となっていないか。 (3) 外箱及び表示面は、変形、損傷、脱落、汚損等がなく、適正な取付状態であるか。 (4) 不点灯、ちらつき等がないか。	
消防用水 (令和 年 月 日実施)	(1) 周囲に樹木等使用上の障害となる物がないか。 (2) 地下式の防火水槽、池等は、水量が著しく減少していないか。	
検査実施者氏名		防火管理者氏名

注：不備・欠陥がある場合は、直ちに防火管理責任者に報告すること。